

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 25 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520597

研究課題名（和文） 軍神の歴史図像学的研究

研究課題名（英文） Historical iconology of War Gods

研究代表者

黒田 智 (KURODA SATOSHI)

金沢大学・学校教育系・准教授

研究者番号：70468875

研究分野：中近世日本歴史図像学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：文化史、絵画史料論

## 1. 研究計画の概要

本研究は、中近世日本における軍神（いさがみ）信仰とその図像をめぐる歴史図像学的研究である。

13 世紀に誕生した和製の地藏菩薩＝勝軍地藏は、日本独自の国家・国土観念を背景に、中世武家政権から庶民にまで広く信仰され、その後の近代戦争や国民国家の成立・展開にも少なからぬ影響を与えた軍神であった。

本研究は、800 年間にわたる勝軍地藏信仰とその図像の歴史的展開の解明を目的とする。列島各地に膨大に現存する勝軍地藏像についてはじめて悉皆的調査・収集を行ない、データベース化をほどこし、合わせて関連史料・文献の網羅的把握を進める。

これにより、(1)13 世紀の勝軍地藏信仰の生成から、(2)14 世紀の地藏信仰・地藏縁起の増産、(3)16 世紀の愛宕信仰の伝播、(4)18 世紀初頭の防火神としての流布、(5)近代戦争における戦勝の神としての再浮上まで、800 年間の足跡を詳細に論証してゆくことになる。

## 2. 研究の進捗状況

現地での聞き取り、郷土資料の収集などの史料採訪と、関連史料・研究文献の収集により、勝軍地藏データベースは、2011 年 3 月の段階で 420 件をこえた。

研究諸機関・寺社での絵画・彫刻・石造物調査（熟覧・写真撮影等）は、古例が集

中的に残存している①島津氏関係地域（鹿児島・宮崎県 2009 年度）、②長尾・前田氏関係地域（福井・石川県 2008 年度）、③武田氏関係地域（山梨・長野県 2010 年度）で実施した。そのほか、④京都市内の寺社（東寺、矢取り地藏堂、権現寺、上善寺）、⑤名古屋市羊神社、⑥大阪市天王寺区五条、⑦和歌山県高野山霊宝館、⑧東京都檜原村伊勢清峯社、⑨茨城県桜川市、⑩横浜市鳥山三会寺、⑪福岡市承天寺などで調査を実施した。

加えて、⑫矢取地藏伝承と『矢取地藏縁起絵巻』の舞台である滋賀県安孫子荘故地の現地調査および押立神社の古文書調査（2008～2010 年度）、⑬熊本市池上地区所蔵「池辺寺縁起絵巻」と勝軍地藏像ほか仏像群についての調査（2009 年度）を実施した。

さらに、毘沙門天・妙見菩薩など、同時代の同時代の日本にあった多様な軍神信仰の史料・文献の調査・収集をすすめている。

これらにより、勝軍地藏信仰の背景に水の神と火の神の対立・抗争があるというあらたな見通しをえることができた。

2011 年には単著『藤原鎌足、時空をかける』（吉川弘文館）を刊行したほか、勝軍地藏信仰に関する論文や、豊臣秀次像、足利義持像といった中近世肖像関連の論文を発表した。そのほか滋賀大学経済学部附属史料館寄託『押立神社文書目録（稿）』の作成に協力した。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。  
(理由)

勝軍地蔵像の収集とデータベース作成作業は、ほぼ予定通りに達成できている。また勝軍地蔵像の古例が集中的に残存している地域についての調査をほぼ完了している。これらの成果を著書にまとめる準備がすすんでいる。あわせて中近世肖像画の図像学的研究について調査と論文執筆をすすめることができた。

⑫・⑬の両地域における現地調査・史料採訪に思いのほか労力を費やしたため、肖像関連のシンポジウムは実施していない。

### 4. 今後の研究の推進方策

昨年度までに調査を終えた地域・作品群についての補充調査が中心になる。③武田氏関係地域(山梨県)と⑤池辺寺関連地域(熊本市)で再調査、⑥赤松氏関連地域(兵庫県姫路市・西宮市)の調査を実施予定である。

データベースの修正・増補作業を進め、その精度を高めてゆきたい。

調査・収集作業にもとづく個別の成果を学術論文として漸次公表する。本研究全体の成果となる『勝軍地蔵の八〇〇年』(仮題 吉川弘文館 2012年予定)の刊行に向けて、執筆準備を進めてゆきたい。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計9件)

- ①黒田智, 石守寺の鎌足像, 『本郷』, 92巻, 2011年, 18-19, 査読無
- ②黒田智, あたらしい文化史の跫音, 『民衆史研究』, 80号, 2010年, 23-34, 査読無
- ③黒田智, 絵画史料論と動物史—忘れられた馬の焼印をもとめて, 『歴史評論』, 715号, 2009年, 16-27, 査読無
- ④黒田智, 豊臣秀吉・妻子像を読む, 『文学』, 第10巻第5号, 2009年, 138-149, 査読有

[学会発表] (計8件)

- ①黒田智, 豊臣秀次と34人の妻妾たち, 「絵を読む会」(『文学』2009年秋特集号準備会), 2008年6月22日, 於岩波書店(東京都)
- ②黒田智, とり違えられた肖像—足利義持

の肖像制作と天空の地蔵菩薩, 2008年5月16日, 鹿島美術財団研究発表会, 鹿島KIビル大会議室(東京都)

[図書] (計4件)

- ①黒田智, 吉川弘文館, 藤原鎌足、中世を生きる, 2011年, 全250頁